

土岐川グリーンベルト

多治見砂防国道事務所

土岐津中学校の1年生69名が、学校の裏山である「土岐津の森」において、森林の働き、樹林整備の意義や現在の森の様子を学ぶための学習、土砂災害に強い樹林を目指した樹林整備活動に取り組みました。

この活動は、多治見砂防国道事務所、土岐市ほか、多くにボランティアの支援のもと実施されました。

10/14 学習会 ～森と人との関わり、なぜ樹林整備が必要か～

室内講義として、グリーンベルトの活動とは何か、森と人との関わり、なぜ樹林を整備する必要があるのかを学習しました。

野外で木が生えているときと生えていないときの森の働きを知る土砂流出実験と砂防堰堤の役割を学ぶ土石流模型実験を行いました。



中島講師による講義



土砂流出実験



土石流模型実験

11/4 観察会 ～実際に森に入って、森を見る～

森に入ることが初めての生徒が多く、「森を知る、森にふれる」を目的として、森の様子や昨年度までに先輩が樹林した所を歩きながら観察しました。

その後、グループに分かれて森の土や木の観察を行い、玉切りの練習をしました。



森の中を一周



森の土と木の観察



玉切りの練習

11/25 樹林整備 ～みんなと協働で土砂災害に強い森をつくる～

多くのボランティアの方の支援を受けて、常緑低木の伐採を行い、伐採した木を玉切りし整理しました。

立っている木を切るのは初めての経験でしたが、ケガも無く楽しく作業できました。



グループ毎でKY活動



二人一組にわかれて切る木の選別から伐採、枝打ち、玉切り、整理まで